

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	232防犯対策の促進		
施策のねらい (めざす姿)	市民が、犯罪のない明るい地域社会で安心して暮らしています。		
基本目標	2「自然と社会が調和する環境共生都市」をめざして	施策担当マネージャー	市民生活部次長
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	マネージャー氏名	斉藤 薫

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	防犯灯については、経費削減や環境への配慮のため引き続きLED灯への切替を促進していく。また、防犯体制については、継続的に強化に努めていく。	③改革・改善内容	自主防犯パトロール隊員が、高齢化などにより減少しているため、増加させる方策を検討しなければならない。
②①に基づく取組み結果	水銀灯からLED灯への交換も新設事業補助の対象とした。 維持管理費の補助を1灯あたり600円から700円に増額した。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市民・自治会	意図(対象をどうするのか)	自治会などと協力し防犯灯の維持管理や防犯パトロールを実施するとともに、防犯協会の支援などを通して安全で安心なまちづくりを進める。
②施策の概要	○防犯灯補助事業:市内自治会等の防犯灯管理団体が行う防犯灯の新設及び維持管理費に対し補助を行う。 ○防犯協会補助事業:防犯協会の事業に補助を行う。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	防犯施策の推進により、市内の刑法犯認知件数は減少傾向を示しているものの、今後も防犯対策を強化する上で、防犯灯の維持管理をはじめとした市民や自治会等の防犯活動、防犯協会の事業等を積極的に支援していく必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27～28年度の施策の成果	防犯施策の推進により、市内の刑法犯認知件数は減少傾向を示している。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値(32年度)
	i	刑法犯認知件数	件	1,214	1,089	970	1,300
	ii	防犯パトロール隊団体数	団体	44	44	44	40
	iii						
③基本事業成果指標	i	防犯灯設置灯数	基	7,920	8,000	8,055	8,250
	ii	防犯パトロール隊参加者数	人	1,436	1,419	1,387	1,624
	iii	防犯サテライト事業参加者数	人	200	220	1,087	360
	iv	防犯パトロール隊団体数	団体	44	44	44	40
	v						
	vi						
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成27年度決算	平成28年度決算	市民一人あたり事業費(26年度決算)		平成29年度予算		
事業費(千円)	82,145	78,016	(単位:円) 718 円		90,869		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	今後、電気料金や修繕費など防犯灯維持管理コストの増加が見込まれるため、市民や自治会の負担の軽減を継続して行っていく必要がある。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	市内の刑法犯認知件数は減少傾向を示している。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑ 向上	②コストの方向性	↑ 増加
③特に重点化する事務事業	防犯対策に要する経費		
④上記方向性の説明	今後も防犯対策を強化する上で、市民や自治会等の防犯活動、防犯協会の事業等を積極的に支援していく必要がある。		